

神秘的で感動的な母性看護学

紹介者 医療技術短期大学看護学科3年生
かずもりもえ こんどうみちよ

計盛百絵、近藤倫代

母性看護では

医療技術短期大学部B棟3階に母性看護学担当の寺尾先生の研究室があります。母性看護学は主に妊娠・出産・育児における母と子の健康管理や思春期から更年期女性の健康に深く関わった看護を行います。寺尾先生の授業は女性のライフサイクルの中で重要な妊娠、出産、育児について身体的、心理的变化をわかりやすく詳しく教えて下さいました。

生命誕生の神秘

まず、最初の授業は母性の概論から始まります。概論は女性のライフステージにおける母性看護を思春期、成熟期、更年期、向老期に分けてそれぞれの特徴を教科書以外の資料も用いて講義が行われました。各論は妊娠、分娩、産褥、新生児期の特性を学び、各々の時期に必要な看護を提供する大切さを、寺尾先生の臨床経験を交えながら教えて頂きました。また、実際に出産に立ち会うこともでき、生命の誕生の素晴らしさや命の尊さを体験することが出来ます。出産を終えた褥婦さんのその後の経過にも、バイタルサインの測定や身体的変化の観察などを通じて関わっていくことができます。身体的ケアだけでなく妊婦さんの心理的ケアの重要性も教わりました。



「出生前診断」をテーマに

次に、研究ですが、研究領域の決定は4月中にどの領域で研究をするか学生個人が決めます。今回、母性研究班に6名が希望しました。グループの学生が研究室に入ると一杯になります。

母性看護学領域の卒業研究は「出生前診断」をテーマに指導して頂きました。私達は、将来医療に携わっていく者として、看護学生が出生前診断に対して、どのような考えを持っているのかを調査するためにアンケートを実施しました。研究をどのようにすすめればよいか、文献を読んだり、対象学生へのアンケート作成については、その作成方法を教わったり、また他の大学への調査の協力依頼は、先生が直接その学校へ依頼して下さいました。他に文章と図表の構成や文章を読みやすくするためのアドバイスも頂きました。

未来に向けて

研究室には私達以外に保健学科1年生の2人も研究室を訪れて、新生児ケアに関するデータなどを入力



先生のコメント

したりしています。先生は、時には厳しいですが、先生の笑顔がとても素敵でみんなから慕われています。私たちは今春、それぞれの進路に向けて出発します。今後、自分自身が成長したと先生に認められるように頑張っていこうと思っています。

私もあなた方が医療現場でどのように輝いて看護しているか、楽しみにしています。